

2020年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年12月23日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

 コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 2020年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	31,592	2.7	121	49.4	148	45.7	66	61.2
2019年5月期第2四半期	30,771	4.2	239	21.5	274	13.0	172	18.0

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 122百万円 (34.5%) 2019年5月期第2四半期 187百万円 (35.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	5.06	
2019年5月期第2四半期	13.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	19,511	4,769	24.4	359.96
2019年5月期	18,793	4,700	25.0	354.71

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 4,769百万円 2019年5月期 4,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		4.00		4.00	8.00
2020年5月期		4.50			
2020年5月期(予想)				4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,200	2.0	520	20.0	570	19.1	325	21.8	24.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期2Q	13,450,800 株	2019年5月期	13,450,800 株
期末自己株式数	2020年5月期2Q	200,012 株	2019年5月期	200,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期2Q	13,250,788 株	2019年5月期2Q	13,250,790 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善するなど景気は緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は十分な回復までには至らず、米中貿易問題の長期化などによる世界経済への影響や消費税率引上げ後の消費者マインドの落ち込みが懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、依然として消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに人手不足による人件費や物流費の上昇などにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、既存得意先との取引拡大や前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸長いたしました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っております。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は315億92百万円（前年同期比2.7%増）となりましたが、物流費等の経費増加の影響から営業利益は1億21百万円（前年同期比49.4%減）、経常利益は1億48百万円（前年同期比45.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は66百万円（前年同期比61.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（外商事業）

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕を図るとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は207億30百万円（前年同期比2.1%増）となりましたが、物流費等の経費増加の影響から営業損失は1億39百万円（前年同期は営業利益92百万円）となりました。

（アマカ事業）

当事業におきましては、それぞれの店舗において、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開、近隣飲食店等への営業活動の強化などに注力したことに加え、前連結会計年度に開設した新規店舗やネットショップが寄与し売上が伸長いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は99億32百万円（前年同期比5.0%増）となり、営業利益は7億25百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として46店舗であります。

（水産品事業）

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、海外を含めた新規得意先の開拓など、国内外への販路拡大に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益改善に努めるとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は9億94百万円（前年同期比5.6%減）となり、営業利益は13百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が2億59百万円、受取手形及び売掛金が1億69百万円、商品が1億12百万円増加したこと等により、流動資産は全体で6億62百万円増加しました。また、固定資産は、建物及び構築物が73百万円減少したものの、投資有価証券が2億5百万円増加したこと等により、全体で54百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して7億17百万円増加し、195億11百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が4億26百万円増加したものの、短期借入金が8億51百万円減少したこと等により、流動負債が全体で3億9百万円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が8億26百万円増加したこと等により、全体で9億57百万円増加しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して6億48百万円増加し、147億41百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して69百万円増加し、47億69百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは5億57百万円の収入(前年同期は2億50百万円の収入)となりました。これは、売上債権の増加1億69百万円があったものの、減価償却費2億56百万円の計上、仕入債務の増加4億26百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは2億83百万円の支出(前年同期は3億26百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1億35百万円、投資有価証券の取得による支出1億25百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは15百万円の支出(前年同期は3億円の支出)となりました。これは、長期借入れによる収入15億円があったものの、短期借入金の純減額8億51百万円、長期借入金の返済による支出5億81百万円等によるものであります。

これらに換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ2億59百万円増加し、6億38百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、2019年12月19日に公表しました業績予想に修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	379,833	638,872
受取手形及び売掛金	5,393,078	5,562,417
商品	4,292,044	4,405,014
貯蔵品	30,399	39,985
その他	877,638	989,143
貸倒引当金	△3,984	△3,616
流動資産合計	10,969,010	11,631,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,383,709	3,310,488
その他 (純額)	1,416,687	1,363,625
有形固定資産合計	4,800,397	4,674,113
無形固定資産		
無形固定資産	39,507	47,619
投資その他の資産		
投資有価証券	1,106,959	1,312,618
その他	2,349,783	2,316,408
貸倒引当金	△471,824	△471,174
投資その他の資産合計	2,984,919	3,157,853
固定資産合計	7,824,824	7,879,586
資産合計	18,793,834	19,511,402

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,298,781	6,725,414
短期借入金	2,527,000	1,676,000
1年内返済予定の長期借入金	1,081,640	1,173,374
未払法人税等	107,948	107,747
賞与引当金	209,407	207,224
ポイント引当金	21,781	21,696
その他	1,045,754	1,071,642
流動負債合計	11,292,312	10,983,099
固定負債		
長期借入金	1,299,149	2,125,845
役員退職慰労引当金	237,907	249,685
退職給付に係る負債	375,480	392,517
資産除去債務	449,219	452,319
その他	439,629	538,234
固定負債合計	2,801,385	3,758,602
負債合計	14,093,698	14,741,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,372	1,076,372
資本剰余金	980,171	980,171
利益剰余金	2,724,024	2,738,020
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	4,746,663	4,760,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45,652	11,453
繰延ヘッジ損益	827	△2,016
退職給付に係る調整累計額	△1,702	△396
その他の包括利益累計額合計	△46,527	9,040
純資産合計	4,700,136	4,769,700
負債純資産合計	18,793,834	19,511,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	30,771,866	31,592,443
売上原価	25,051,904	25,705,658
売上総利益	5,719,962	5,886,784
販売費及び一般管理費	5,480,172	5,765,474
営業利益	239,789	121,310
営業外収益		
受取利息	6,209	6,872
受取配当金	1,979	1,707
受取賃貸料	45,239	45,890
受取手数料	11,263	11,409
その他	24,456	12,743
営業外収益合計	89,148	78,624
営業外費用		
支払利息	12,834	12,054
賃貸費用	36,106	35,875
固定資産除売却損	1,744	773
その他	3,905	2,304
営業外費用合計	54,591	51,008
経常利益	274,346	148,925
特別損失		
減損損失	—	9,299
特別損失合計	—	9,299
税金等調整前四半期純利益	274,346	139,626
法人税、住民税及び事業税	98,046	75,886
法人税等調整額	3,818	△3,259
法人税等合計	101,865	72,627
四半期純利益	172,481	66,998
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,481	66,998

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	172,481	66,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,358	57,106
繰延ヘッジ損益	127	△2,844
退職給付に係る調整額	1,043	1,306
その他の包括利益合計	14,529	55,568
四半期包括利益	187,010	122,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,010	122,567
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	274,346	139,626
減価償却費	239,735	256,834
減損損失	—	9,299
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,030	△1,017
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,349	△2,182
ポイント引当金の増減額(△は減少)	509	△84
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11,267	11,778
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,927	18,901
受取利息及び受取配当金	△8,189	△8,580
支払利息	12,834	12,054
固定資産除売却損益(△は益)	1,744	773
売上債権の増減額(△は増加)	△72,720	△169,338
たな卸資産の増減額(△は増加)	△443,208	△122,555
仕入債務の増減額(△は減少)	396,410	426,632
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,265	△18,722
その他	30,825	50,801
小計	421,001	604,221
利息及び配当金の受取額	3,578	3,237
利息の支払額	△8,955	△8,290
法人税等の支払額	△164,831	△41,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,793	557,787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△219,995	△135,292
無形固定資産の取得による支出	△1,950	△19,804
投資有価証券の取得による支出	△106,030	△125,657
敷金及び保証金の差入による支出	△10,178	△198
その他	11,973	△2,729
投資活動によるキャッシュ・フロー	△326,180	△283,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	485,000	△851,000
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△712,197	△581,570
配当金の支払額	△46,265	△52,929
その他	△26,610	△29,528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300,072	△15,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128	△38
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△375,588	259,038
現金及び現金同等物の期首残高	1,197,823	379,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	822,234	638,872

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年6月1日 至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	20,312,128	9,445,444	1,005,783	30,763,356	8,509	—	30,771,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	651	11,154	47,937	59,744	—	△59,744	—
計	20,312,779	9,456,599	1,053,721	30,823,100	8,509	△59,744	30,771,866
セグメント利益	92,510	612,454	16,716	721,681	2,205	△484,097	239,789

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△484,097千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日 至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	20,727,558	9,923,506	933,172	31,584,238	8,204	—	31,592,443
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,398	9,407	61,748	74,555	—	△74,555	—
計	20,730,956	9,932,914	994,921	31,658,793	8,204	△74,555	31,592,443
セグメント利益又は 損失(△)	△139,100	725,097	13,979	599,976	2,564	△481,230	121,310

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△481,230千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

外商事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間において9,299千円であります。